

令和元年度 沖縄県振興審議会 第4回 基盤整備部会議事要旨

令和元年 10月29日(火) 13:30~15:50

【議題 第1~3回基盤整備部会における委員意見及び対応方針(案)】について

○意見なし

【議題 第1~3回基盤整備部会委員意見及び対応方針(案)〈意見書〉】について

○意見なし

【議題 第4回基盤整備部会委員意見及び対応方針(案)〈他部会からの申し送り事項〉】について

○意見なし

【議題 建設産業及び人材育成】について

○建設産業の人材不足について、型枠、鉄筋工など、どの分野が不足しているのか現状を分析する必要がある。

○建設産業において、どの分野で人材が不足しているのかを把握した上で、現在の工業高校の学科で良いのか検討が必要であり、教育庁に積極的に申し入れる必要がある。

○建設産業では人材不足が深刻な状況にある。特に中規模以下の企業では人的余裕がなく育成に時間のかかる社員採用は難しいため即戦力を求めている。このため商工労働部が所管する職業能力開発校と連携し即戦力となる人材を創出していく必要がある。工業高校卒だけでは不足するので普通高校卒の人材も含めて検討が必要である。

○地元の建設コンサルタントについて、地盤や塩害など地域の状況に精通している。しかし国や県庁内の一部において県外企業等の参入例が増えているという指摘もある。地元企業の技術力の向上も必要であるが、県庁全体で連携し県内企業への優先発注を進める必要がある。

○沖縄県における建設産業はデータから労働生産性が低い状況がうかがえるが、総点検報告書ではそのことに対してどうするかという記載が少ない。情報系の技術を使って生産性を上げる努力をしていることに関して記載をする必要がある。

○建設産業が県内の第二次産業に占める割合は高い、労働生産性は低いが給与は高いなどのデータについて更なる分析を行い、総点検報告書における表現を検討する必要がある。

○沖縄県は観光業などにおいても人手不足となっている。建設産業においては、きついなどのイメージがあり人が集まりにくい。給与などの待遇面についての話や魅力をどう伝えるのかが重要であるが、給与を増すだけでは生産性が下がる。今後はドローンやロボットなど生産性を高め人手不足を補う必要がある。

【議題 圏域別展開】について

○ 中城湾港、平良港及び石垣港のクルーズ船が寄港した際の二次交通との結節点の対応が不十分であり、記載する必要がある。

○北部、八重山の世界自然遺産登録について、オーバーツーリズムの問題があるが、ロードキルに関する記載が無い。道路管理者ができることは多くある。レンタカーや地元の車両について車両速度および交通量の制限などについて検討が必要である。

○宮古圏域で伊良部架橋ができた後で、土地利用やホテル建設などの急激な開発やオーバーツーリズムの話がある。このような中、対応について記載が必要である。

○県全体で地域毎のオーバーツーリズムを考える総合的な場が必要。持続可能な発展考えた上で色々な検討が必要である。